

学勢調査 2012 大学の対応

3.1 事務について

提言

事務職員の対応は、CS（顧客満足度）研修（サービスの向上を図り、顧客を満足させるための研修）などを継続的に実施し、引き続き改善をお願いします。

対応策・実施方法

平成 25 年度には、学務部等の窓口業務に従事している職員を対象に CS（顧客満足度）研修（サービスの向上を図り、顧客を満足させるための研修）を実施しました。

引き続き、職場マナーの向上に努めていきます。

3.4 奨学金について

提言

現状としては、いまだ経済的に困窮している学生が多いため、更なる奨学金の拡充を求めます。また、今ある奨学金でも、学生の経済状況が把握されるように面接等の機会を増やしてはいかがでしょうか。

対応策・実施方法

本学への寄付金である東工大基金の一部を活用し、手島精一記念奨学金をはじめとした本学独自の奨学金制度（東工大基金奨学金）が新設されました。今後も、本基金を財源とした多様な奨学金制度の新設を検討して参ります。また、学生支援課、すずかけ台学務課の奨学金等担当窓口では、経済状況により適切な支援を受けることができるよう随時ご相談を受け付けています。

3.5 就職活動について

提言

よりいっそう本学学生の就職へのニーズ合う情報を提供し、更なる進路・就職情報の充実を希望します。

対応策・実施方法

平成 25 年 4 月にイノベーション人材養成機構を設置して、全学的なキャリア教育や就職ガイダンス、各種セミナー、キャリア相談など各種の就職支援に取り組んでいます。

また、平成 25 年 12 月には同窓会組織である蔵前工業会と連携して学内で企業説明会を実施し、多くの学生の参加を得ました。

3.7 OCW,OCW-iについて

提言

「3.6 掲示板について」でも言及したように、PC やスマートフォンの普及率、使用頻度が増加傾向にあることから、OCW、OCW-i、教務 Web の継続的な改善に取り組むようお願いいたします。

対応策・実施方法

予算等可能な範囲にて継続的に機能改善に取り組んでいます。平成 24 年度においては、学生向けお知らせ機能の強化や、休講登録配信機能の強化等を行っています。今後も同様に

改善を行って行く予定です。

4.3.1 学生寮の充実

提言

親の低所得化の現状にあって、家賃は一部の学生の生活に大きな負担となっています。学生寮の新設が難しいとしても、代替案は必要となります。例えば、大学側がルームシェアの斡旋をするなども可能なはずです。まずはこの問題に関して検討する場を設けることを提言します。

対応策・実施方法

平成 26 年 4 月から、企業と提携をして東工大の学生専用に入居できる提携宿舎を梶ヶ谷に新規に契約しました。

5.2.2 文系科目について

提言

文系科目の講義数や内容について検討し直し、カリキュラムを再編することを提言します。どの講義を取ればどの分野に関する理解が深まるのかということを明確に示し学生の学習計画の補助となる情報を発信していくことが大切です。講義の科目が多いため単位の取り易い講義に学生は集中しがちですが、講義ごとの目的や連携をはっきりすることで学生も自分の興味のある講義を選べるようになるはずです。このためには成績評価の統一が欠かせませんのでこのことを踏まえてカリキュラムの再編をすべきであると提言します。

対応策・実施方法

教育改革では、文系科目に限らず、体系的な科目関連図を明示し、それに沿って学習できるようにカリキュラムを作成する予定です。具体的には、科目の関連が明示され、その科目を受講することで何を身に付けることができるのか、その科目を学んだら何につながるのか等を明確にしていく予定です。

5.3.1 学部 1 年次の授業について

提言

類と学科の講義内容のミスマッチを減らせるように、理工系基礎科目の内容を見直し、その後の学科の講義と上手く合うように調整すべきであると提言します。

対応策・実施方法

類と学科の間における連携が重要であり、教育改革では、体系的な科目関連図を明示し、それに沿って学習できるようにカリキュラムを平成 28 年から実施する予定です。

5.5.3 留学の門戸について

提言

学生が海外生活を経験することは学生にとっても大学にとってもプラスになると考えられるので、各学科で留学しやすいようなカリキュラムを設定することを提言します。

対応策・実施方法

教育改革では、クォーター制を導入する予定です。その中で、留学しやすい時期の設定等について検討予定です。

8.1.3 ハラルメニューについて

提言

ハラルメニューの充実をお願いします。

対応策・実施方法

イスラム学生の皆さんに試食会を開催し、平成 25 年 11 月より「ラーメン」「丼」「カレー」などのハラル推奨新メニューの提供を開始しました。

8.1.5 定食・セットメニューの追加について

提言

メニューの組み合わせの提案をこれからもお願いします。

対応策・実施方法

Web サイト「学食どっとコープ」<http://gakushoku.coop/> にて、300 円、400 円、500 円以内で食べられるメニュー組合せが検索できるようにしました。どうぞご利用ください。

8.1.4 健康志向のメニュー・ボリューム重視のメニューについて

提言

健康志向、ボリューム重視のメニューのさらなる充実の検討をお願いします。

対応策・実施方法

健康志向メニューについては、お弁当メニューについて開発をしました。(大岡山・すずかけ台) ボリューム重視メニューでは、大岡山第一食堂で野菜増しのできるラーメンの提供を始めました。今後も引き続き行っていきます。

7.1 図書館の開館時間について

提言

図書館という資料が十分に揃っており、落ち着いて勉強に集中できる場所は学生の学力向上に必須です。そのような環境を少しでも長く提供できるように、学生の利用状況等を考慮の上で平日・休日ともに図書館の開館時間を延長することを提言します。

対応策・実施方法

大岡山図書館では試験期に、通常期の開館時間を延長して開館しております。これまでの学生の皆様からの要望と必要性を考慮しまして、平成 25 (2013) 年度 10 月より、土日祝日の延長開館 (3 時間延長 : 17:00 閉館から 20:00 閉館に) の試行を開始しております。終了後には利用状況等を踏まえ試行の継続または本実施の是非を検討しつつ、平日時間帯の延長も視野に入れて、慎重に検討してまいります。

7.2 図書館の蔵書について

提言

学生の教養を深めるためにも文系書の拡充は必要です。著名なものだけでも文系書の拡充を提言します。

対応策・実施方法

・本学で開講されている文理融合分野や社会科学系分野の蔵書の充実に継続して努めてい

ます。

・理工系大学の性格上、理工系専門分野の図書の充実を第一に蔵書の整備に取り組む一方、授業用関連図書の推薦により英語の多読用教材（リーダー）約 500 冊を購入しました。またリベラルアーツセンター学生プロジェクト「リベラルアーツカフェプロジェクト」主催のイベントに協力しプロジェクトからの希望図書購入など、一般教養図書の充実にも努めています。

・一定の評価を受けた図書も選定しています（芥川賞や直木賞などの文学賞受賞作品）。これらの分野の蔵書全体に対する割合は、大学の目的や特性を考慮した相応のものになっていると考えます。

・すずかけ台分館ではペリパトス文庫を継続して拡充し、小説・新書の新刊書を中心に約 4,400 冊を備えるに至っています。

9.1.1 震災時の避難誘導について

提言

学内の放送設備の増強、及び英語によるアナウンスの実施をお願いします。

対応策・実施方法

館内放送設備のない建物には、平成 25 年度中の整備に向け工事を行っています。また、英語のアナウンスは実施に向け、国際部に協力依頼をすることとしています。

4.10.1 すずかけ台スポーツ施設の改善

提言

すずかけ台のフットサルコートについては、今後のコート整備を提言します。既に学務課の方で整備をしていく予定ではあるようですが、ナイター照明や柵、水道などについて順次整備をお願いします。

テニスコートについては、平日の夜間利用においても、教職員、研究室所属学生優先のもと、学部生も予約可能とすることを提言します。また、予約方法について、インターネット上での予約が可能となれば利用しやすくなるので、あわせてお願いします。学生側についてもきちんとルールを守った上での使用を心がけるようにしたいと思います。そのため学生側へ、スポーツ施設の利用について、ナイター照明の使用やゴミ捨て、予約利用などに関してきちんとルールを守った上で使用することを提言します。

対応策・実施方法

フットサルコートのナイターについては、照明を設置し、平成 25 年 4 月からナイター枠を運用開始しました。テニスコートの夜間利用については、安全管理上、従来どおり教職員枠として、すずかけ研究室所属学生のみで限定しております。

学勢調査結果に基づいて、各部局で行われた改善については、順次報告する予定です。ご期待下さい。